

学校自慢

挨拶と温かい言葉が行き交う学校づくり

千葉県立轟町小学校長 おだか まさひろ
尾高 正浩



1 はじめに

今年度本校は、児童数475名、教職員32名でスタートした。本校の校訓は「とどろきっ子はがんばる子」、教育目標は「自ら学ぶ意欲をもち、心身ともにたくましく生きる子供の育成」である。

〈くめざす子供像〉

- 思いやりのある子
- 進んで学ぶ子
- たくましい子



2 今年度の取組

本校では、学校経営の重点を「挨拶と温かい言葉が行き交う学校づくり」として3年目を迎えている。元気な「あいさつ」と感謝の気持ちを表す「ありがとう」は、人と人との心をつなぐ。温かい言葉を通してみんなが「轟町小学校で学んでよかった」と思えるような学校づくりをしている。

ここで大切なのが、校長によるトップダウンで行うのではなく、全職員で共通理解し、具体策を考えることである。そこで、5月の校内研修で、全職員が低学年、中学年、高学年グループに分かれて、本校の子供たちの挨拶と温かい言葉かけのできているところとできていないところを話し合い、具体的に目標と実行方法について話し合った。その結果、「帰りの会で挨拶について振り返る」「場面を設定してどういう挨拶が適しているか考えさせる」「ふわふわ言葉、チクチク言葉の掲示」「ほめ言葉シャワード」など様々な取組が決まったのである。そして、各学年5月から実

践して、10月にもう一度全職員で取組を見直し、そこで、さらに次のような改善策を考えたのである。具体的には「挨拶カード」「挨拶週間の実施」「ロールプレイ」「呼び捨て禁止令」「相手の良さを見つける場をもつ」「言われてよかった言葉を書き留めたり、発表したりする」などである。全員で考えたことを実践することで、学校の取組となると考えた。

また、子供たちに意欲を持たせるために、昨年度より「目指せ、あいさつ名人」という合言葉のもとに、挨拶のレベル表を作って取り組んでいる。

- レベル1 心の中で
- レベル2 小さな声でも
- レベル3 相手を意識して
- レベル4 自分から進んで
- レベル5 笑顔で
- レベル6 誰にでも

レベル6に到達した子供は、夏休み前集会、冬休み前集会、3月の全校集会で全校の前で、一人一人表彰している。昨年度は1年間を通して、380名があいさつ名人として表彰されている。

3 おわりに

本校は道徳教育の研究校でもあるので、道徳科を中心に全教育活動を通して子供たちの心を育てている。これからも、挨拶と温かい言葉を通してみんなが「轟町小学校で学んでよかった」と思えるような学校づくりをしていきたい。